

# ていり 市議会だより

■発行：天理市議会  
 ■編集：議会広報編集委員会  
<http://www.tenri-gikai.jp/>

〒632-8555  
 天理市川原城町605  
 TEL.0743-63-1001  
 FAX.0743-63-4502

## No. 56

2011年 5月15日



「東北地方太平洋沖地震」（東日本大震災）  
 で被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。  
 また、犠牲になられた方々に心よりお悔や  
 み申し上げます。

### CONTENTS

3月定例会の概要	2
常任委員会の概要	2~4
予算審査特別委員会の概要	4~5
一般質問 ほか	5
議案等の議決結果 ほか	8
意見書の内容ほか	9
とびくす ほか	10

# 3月定例会

## 平成23年度予算及び 一般会計補正予算など可決！

第1回定例会は、3月2日に開会し、新年度予算案をはじめ平成22年度一般会計補正予算及び条例の一部改正など多数の重要案件を審議し、すべて原案どおり可決し、18日に閉会しました。

2日の本会議では、市長より招集の挨拶があり、会期を22日までの21日間と決めた後、議事日程に入り、

議案1件が上程され、原案どおり可決しました。

その後、平成22年度一般会計補正予算を含む27議案について、市長より提案説明及び新年度における市政

の展望と基本姿勢について所信を述べられ、1日目を散会しました。

再開された4日の本会議では、上程された議案のうち、18議案を各常任委員会に付託し、平成23年度一般会計予算など9会計予算について、予算審査特別委員会を設置して審査することとし、2日目を散会しました。

7日から17日の間に、各常任委員会及び特別委員会が開催され、それぞれ付託された議案を審査し、いずれも原案どおり可決しました。

再開された16日の本会議では、一般質問が行われ、4議員（吉井議員、荻原議

員、平井議員、堀田議員）から一般質問がありました。（5〜7P要旨掲載）

また最終日となった18日の本会議では、人権擁護委員の推薦及び固定資産評価審査委員会の委員の選任について上程され、それぞれ原案どおり承認及び同意しました。次に各常任委員会及び特別委員会に付託された27議案について、各委員長より報告のあと、2議案に対して反対討論（8P内容掲載）があり、採決の結果、賛成多数により可決しました。

次に意見書2件（9P内容掲載）が上程され、提案者の説明後、それぞれ原案どおり可決しました。

最後に発議案1件が上程され、提案者の説明後、反対討論（8P内容掲載）があり、採決の結果、賛成多数により可決し、本定例会を閉会しました。

### 常任委員会 審査の概要

#### 市民経済委員会

##### 可決された議案

●平成22年度国民健康保険特別会計補正予算

「内容」歳入歳出ともに、1億9千892万4千円を増額。歳出は、一般被保険者及び退職被保険者に対する高額介護合算療養費等であり、歳入は、療養給付費交付金等で充当。

●平成22年度住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算  
「内容」歳入歳出ともに、256万1千円を増額。歳出は、貸付金の繰上償還に

伴う長期債元金償還金であり、歳入は、回収管理組合返戻金等で充当。

●平成22年度市立病院事業会計補正予算

「内容」歳入歳出とも2千456万4千円を増額。収入は、医業収益の外来収益、一般会計負担金を増額し、医業外収益の一般会計補助金、県補助金を減額及び国庫補助金を増額。支出は、職員の退職給与金等の増額及び薬品費を減額。

##### 意見・要望

◎ジェネリック医薬品での処方促進のため、処方完全性等について、より一層市民への啓発に努められるよう要望。

●心身障害者医療費助成条例の一部改正

「内容」県内への転入者が、療育手帳の交付申請をした際、当該手帳の交付を受けるまでの間、他の都道府県等で既に交付を受けていた療育手帳を県の療育手帳とみなすため、助成要件を改正するもの。



## 意見・要望

◎改正後の事務の執行について、遺漏なきよう要望。

●国民健康保険条例の一部改正

〔内容〕国民健康保険法の一部改正等により、引用する法律名、条文等の所要の整備をするもの。

●売買代金請求事件に係る訴訟の和解

〔内容〕御経野地区環境改善事業における代替土地購入代金未払者との調停不成立による訴訟切りかえについて和解案を受諾するもの。

●山添村消費生活相談事業の事務の受託

〔内容〕山添村消費生活相談事業の事務の一部を受託するもの。

## 建設水道委員会

### 可決された議案

●平成22年度土地画整理事業特別会計補正予算

〔内容〕歳入歳出予算ともに4千848万9千円を減額。歳出の内容は、事業費の確定による建物等移転・移設補償費の減額で、歳入は、国庫補助金及び市債の減額等。

●平成22年度下水道事業会計補正予算

〔内容〕業務の予定量を1億8千228万1千円減額。収益的収入及び支出について、支出は、企業債利息の減額等であり、収入は、農業集落排水事業の企業債利息の償還に充てるための県補助金を追加。また、資本的収入及び支出について、支出は、建設改良費の減額等であり、収入は、企業債及び国庫補助金の減額によるもの。

●道路占用料に関する条例及び天理市法定外公共物管

理条例の一部改正

〔内容〕道路法施行令の一部改正に伴い、道路占用料及び法定外公共物の占用料を改定するもの。

●都市計画審議会条例の一部改正

〔内容〕平成23年度の機構改革に伴い、「都市計画課」の名称を「まちづくり計画課」に変更するもの。

●市道路線の認定

〔内容〕開発事業により築造された道路4路線について、道路敷地の権利調査及び地元自治会との協議が整ったことにより、新規路線として認定するもの。

●区域外における公の施設の設置に関する協議

〔内容〕大和郡山市と協議の上、本市公共下水道施設を大和郡山市行政区域内に設置するもの。

## 総務財政委員会

### 可決された議案

●平成22年度一般会計補正予算

〔内容〕歳入歳出ともに、3億5千452万9千円を追加。歳出は、国の補正予算による交付金を活用した各種公共施設の改修整備や図書館、小学校・中学校図書館の充実等であり、歳入は、市税の収入見込に伴う税目ごとの調整。さらに各種交付金関係事業を含め、年度内に完了が見込めない20事業について、それぞれ繰越明許費を設定するもの。

### 意見・要望

◎保育所運営費補助金等の減額について、今後、保育所建設の申請関係の取扱については、関係機関・団体と充分連携・協議をされるよう要望。

◎個人市民税について、景気低迷による個人所得の減少により、大きな減額を生じているが、雇用の促進に

向け、関係各課と連携をしながら、実態の精査をされるよう要望。

◎災害復旧事業の起債の廃止について、災害基準の見直しを国等関係機関に働きかけることを要望。

●特別会計条例の一部改正  
〔内容〕老人保健法の一部改正により平成20年に老人保健制度が廃止され、経過措置期間が終了したことに伴い、同会計を本条例から削除するもの。

### 意見・要望

◎廃止後において精算事務が発生した場合は、遺漏なきよう要望。

●老人医療費助成条例の廃止について

〔内容〕平成22年度をもって本条例を廃止しようとするもの。

●上下水道事業経営審議会条例の制定

〔内容〕本市の水道事業及び下水道事業の経営に関する重要事項について、上下水道事業管理者の諮問に応





じて調査及び審議をし、又は意見を具申するための審議会を設置するため、新たに条例を制定するもの。

**意見・要望**

- ◎審議会が形骸化とならないよう、現状の課題・財政の実態等、審議を充分深められるよう要望。
- 権利の放棄

〔内容〕山辺広域行政事務組合消防庁舎建設事業の財源に充当するため、山辺広域振興基金に対する出資金のうち、1千560万2千223円の権利を放棄するもの。

## 平成23年度予算

一般会計は237億8千800万円  
 特別会計は121億2千390万円  
 企業会計は100億7千231万6千円  
 総額は459億8千421万6千円

## 予算審査特別委員会委員

◎委員長 ○副委員長

◎廣 井 洋 司 ○吉 井 猛  
 飯 田 和 男 寺 井 正 則  
 北 田 利 光 佐 々 岡 典 雅  
 三 橋 保 長 加 藤 嘉 久 次  
 大 橋 基 之

## 会計別当初予算額

(単位：千円，%)

会計名	平成23年度	平成22年度	比較増減	増減率	
一般会計	23,788,000	23,510,000	278,000	1.2	
特別会計	国民健康保険	6,679,000	6,668,800	10,200	0.2
	介護保険	4,082,000	3,771,900	310,100	8.2
	後期高齢者	552,100	539,600	12,500	2.3
	老人保健	0	3,343	△3,343	皆減
	住宅新築資金等貸付金	31,300	34,800	△3,500	△10.1
土地区画整理事業	779,500	227,300	552,200	242.9	
特別会計小計	12,123,900	11,245,743	878,157	7.8	
企業会計	市立病院事業	2,033,728	2,197,045	△163,317	△7.4
	水道事業	3,513,698	4,100,380	△575,490	△14.0
	下水道事業	4,513,698	4,862,001	△348,303	△7.2
	企業会計小計	10,072,316	11,159,426	△1,087,110	△9.7
合計	45,984,216	45,915,169	69,047	0.2	

## 意見・要望

### 一般会計予算

◎地籍調査事業では、より一層適正な執行をされるよう要望。

◎住基法改正に伴うシステム改修事業では、行政措置のあり方について、単に管理強化とまらないように要望。

◎救急医療情報キットでは、今後ますます必要なものであり、より一層の普及に努められるよう要望。

◎子宮頸がん予防ワクチン

の接種対象者について、再度検討を加えるよう要望。

◎各種がん検診等の受診率向上に鋭意努力されるよう要望。

◎ごみ収集運搬業務委託料では、委託内容を充分精査されるよう要望。

◎光の祭典開催委託料では、昨年度と同様、天理駅を除く3駅にも予算配分を検討されるよう要望。

◎観光パンフレット・ポスター等作成では、奈良マラソンを始め各種イベント等にて、効率よくPRに努められるよう要望。

◎防災士育成事業及び一人暮らし高齢者世帯支援事業（火災警報器の設置）では、対象者をできるだけ拡大されるよう要望。

◎前栽小学校施設整備事業では、将来的な展望を含め検討されるよう要望。

◎北中学校夜間学級の地デジ対策では、引き続き早急に整備対応されるよう要望。

◎学校支援地域本部事業では、3年間の実態を精査し、

取り組まれることを要望。

◎景気の低迷による厳しい経済情勢が続く中ではあります。より一層の行政サービスに努められるとともに、市長のトップセールスをはじめ、あらゆる手段を用い、地方交付税等の積極的な確保と効率的かつ効果的な行政運営を図られるよう要望。

### 市立病院事業会計予算

◎経営改善に向けて、今後とも、継続して努力されることを要望。



## 一般質問

3月定例会では、4人の議員が一般質問を行いましたので、ここにその件名と要旨を掲載します。  
詳細は市議会ホームページ（会議録の閲覧と検索）をご覧ください。

**吉井 猛 議員**  
(一問一答)

### 天理市立病院の現状と課題について

**問** 日本国憲法第25条を踏まえて、公立病院の運営がなされている。ところが、財政論が先行する中で、住民不在のまま、医療政策の議論もせずに、自治体病院の経営形態の変更や廃止、民間移譲論が検討されてはならない。医師や看護師確保の対策など、基本的対策を講じることなく、経営計

画のみを急げば、結果として地域医療の崩壊や医療貧困状況に陥ることに拍車をかける。また、一部の病院経営コンサルタントは、指定管理者制度導入によって安定した医師確保と効率的な病院運営が可能とされているが、実態は公共サービスの劣化の問題、劣悪な就業雇用環境の問題点で紛争が起こり、撤退リスクに自治体は振り回されている。

休日出勤問題が問われている。リフレッシュ休暇やゴールデンデンウィークや夏期休暇が取れない実態があり、代替えもとれず休みを買い上げるといふ現状がある。看護師の募集のあり方も見直しが求められている。院内委員会等の会議に対する超過勤務手当も不確実にしか保証されていない。職員に労働強化を強いるだけでは逆に破綻する。「診療情報管理士」も活用できていない。地域医療を担う自治体病院の経営が成り立つような診療報酬体系と診療報酬

点数の配分が不可欠。住民の側から選ばれるような病院にするためへの発想の転換が必要。公立病院の経営悪化は、国の責任が大きい。病院が存立する地方自治体への、交付税算定基準を見直させるべき。県として広域医療のあり方についての指針を明確にすべきという議論が必要。市民への情報公開を基に協議の場を実施し、共に病院経営の判断をしていくという姿勢が、南市長に求められているのではない。

**答** 指定管理者等の民間委託について、指摘された内容を踏まえ腰をすえて考えて行きたい。市長会等において、広域医療のあり方や国に対する意見もまとめていきたい。市民との協議の姿勢はあるがまますして取り組んでいきたい。

**答** 病院の労働実態については、改善に向け労働組合とも協議を深めて行きたい。(市立病院事務局長)

**荻原 文明 議員**  
(一問一答)

### 新行革プログラムについて

**問** 新行革プログラムは今後5年間の21億円の財源不足を補おうとするもので、端的に言えば21億円の歳出削減を目的とし、市民生活に大きく影響します。本来、行政の見直しは、事業の目的と意義に照らして、検討されなければならないと考えるがいかがでしょうか。

**答** 今後5年間で歳入歳出のバランスが取れなくなる。不要不急なものを論議し目標をつくった。重複しているもの役割を終えたものを整理統合したい。9年間で職員の削減と事業の思い切った整理をしたが、誰1人「ノー」という声を聞いたことがない。(市長)

**答** 公民館への指定管理者制度の導入は、生涯学習の拠点としての設置目的に照らしてどのように検討されたのか。

**答** 公民館の民営化は考えていないが、1校区に2つある公民館は地元と協議を深めて1つにしていきたい。(市長)

**問** 新行革プログラムは、家庭ごみの有料化を平成25年に実施すると明言しているが、天理市ごみ問題円卓会議は有料化をしないでごみの削減を図るという結論を出している。市民への説明が必要ではないか。

**答** ごみ有料化検討委員会と円卓会議で議論をお願いしてきた。ごみ処理の方向性をつくっていくために有料化について市民の意見を聞きたいと考えている。(市長)

### 期末手当45%加算について

**問** 現在、議員や市長等の期末手当を45%加算して支給しているが、役職加算とすべきもので廃止するべきです。

**答** 国の方針で支給している。国の担当セクションに

問い合わせを照会していきたい。(市長)

### 磁気ループ設置について

**問** 難聴者の補聴器を補助する磁気ループの設置についてお尋ねします。

**答** 市民会館に赤外線システムを導入している。市民のニーズの把握に努めていきたい。(市長)

### 百歳医療費無料化について

**問** 「いきいき百歳天理プラン」に基づき、百歳以上の医療費の無料化を実施することについてお尋ねします。

**答** 藤沢市の事例も踏まえながらどういう事なのか勉強していきたい。(市長)



## 平井 守 議員

(二問一答)

### 市制60周年に向けたまちづくりと活性化について

**問** 3年後の市制60周年を迎えるにあたり、まちのにぎわいや活性化、PR策を3つ提案したい。

1つは、千円以下の食物であるB級グルメの全国的な祭りとして有名になっているB-1グランプリの開催である。昨年度の会場は厚木市で、2日間の来場者は43万人という。優勝したのは甲府市の地元の「鳥もつ煮」で、その後、甲府市に観光客などが9万人押し寄せ、経済効果は28億円もあった。本市もどうか。

**答** 既存事業の活用や市全体のにぎわいと繋がるような事業を幅広く検討していきたい。(市長公室次長)

**問** 2つ目は、ゆるキャラサミットの開催である。本市ではすでに「てくちゃん、りんちゃん」がいる。奈良

県ではせんとう君などが活躍したが、今では全国的で約2千体ある。ゆるキャラの発祥は彦根市のひこにやんであり、サミットも08年に始まり、この3年間で約20億円の経済効果があった。本市では新たな「卑弥呼ブランド」の活用策が必要であるので、本市もどうか。



**答** 1つの提案として受け止めたい。(市長公室次長)

ものだが、本市もどうか。

**答** 市独自の原付ナンバープレートの発行については、具体的に検討していきたい。(市長公室次長)

**問** 60周年記念のキャッチフレーズやシンボルマークは市民公募や全国公募をしてはどうか。また、優秀作や入賞作にはお金ではなく、地元の農産物等をお配りしてはどうか。

**答** 今後、事業内容を具体的に検討していく中で考えていきたい。(市長公室次長)

**問** さる11日に東北地方太平洋沖地震がおきたが、東南海震災もいつくるかわからない。50周年の時にテントや防災用品を各校区に配布して喜ばれたように、防災グッズを備えるようにしてはどうか。

**答** 記念事業の担当部署と連携し、市民のニーズも十分考慮して、前向きに検討していきたい。(総務部長)

**問** 東北地方の大震災に対する市独自の対策は何か。

**答** 人的並びに物資の支援については受け入れ先の事情もあるのですが、県等からの要請により順次可能なものから取り組んでいきたい。

(総務部長)

**問** 記念事業にむけて、市長のやる気次第で大きく変わる。決意のほどは。

**答** 取捨選択を重ねながら、どういうものが用意できるかを考えていきたい。

(市長)

## 堀田 佳照 議員

(一問一答)

### 天理市の観光ビジョンについて

**問** 豊かな歴史文化資源を活用した観光PRの強化、観光協会、商農業との連携、地域間交流、広域的な観光の振興に向けて活力ある取り組みの内容について。

**答** 計画策定の趣旨、本市の観光を取り巻く現状と課題を整理し、将来に向けた方向性をまとめる。策定についてはアンケート調査の

結果や調査を踏まえ、自然、歴史、文化を生かした市民

とともに進める心温まる何度も訪れたくなる観光のまちの3つの基本目標をまとめパブコメを実施。本年度当初策定完了を予定している。

(環境経済部理事)

**問** 県のポスト1300年祭「記紀、万葉プロジェクト」の本市の取り組みについて。

**答** 古事記、日本書紀、万葉集にまつわる素材も多く、プロジェクトに参加し、観光のさらなる展開を考え、県を含め広域的な連携を深めていきたい。

(環境経済部理事)

**問** 大和郡山市、田原本町、本市など豊富な関連素材を利用した広域観光について、また桜井市との「山の辺の道」イベント、古代大和朝廷発祥といった地域間交流、マスケットと特産品による商農連携の考え方は。

**答** 夏頃までに元気印のものを立ち上げたい。(市長)

**答** ゆかりの地情報収集や

関連市町村との連携。桜井市とはイベントや観光パンフの策定などを図っている。

柿やイチゴの特産品を観光資源と捉えPRしている。今後ウオーキングフェスタの取り組みを進めていきたい。

(環境経済部理事)

**問** 「天理参考館」との関連については。

**答** 歴史探訪ウォークにより展示物の詳細な講義を開催し、市民の関心が大である。

(環境経済部理事)

**問** 観光PRの強化について、魅力あるポスター、パンフの作成、わかりやすい道しるべ設置について。

**答** 観光ポスターを一新し、県外の施設、ホテルまた大阪空港や地下鉄の駅まで表示の拡大を予定、案内板は、記紀、万葉集にまつわる観光拠点の紹介を予定。

(環境経済部理事)

**問** トレイルセンターの活用方法、展示内容について

物品販売も視野に入れ検討いただきたい。

**答** 観光の情報発信基地と

して、関連情報についても積極的に紹介していきたい。

物品販売も制約があるが状況を確認し新たに検討したい。

(環境経済部理事)

**問** 「温故知新」の考えによる観光の創作について、家族連れや若者層を招き入れる取り組みは。

**答** 学生懇談会により、スポーツの体験交流、学習型イベントの開催など学校と連携し、若い世代の集客拡大、新しい視点も取り入れた観光振興の推進に努める。

(環境経済部理事)



## 議会を傍聴しませんか？

本会議、各種常任委員会及び議会運営委員会が傍聴できます。

市政への知識を深めることや議会の活動、市政の方針などを知ることができますので、傍聴を希望される方は、本会議や委員会当日、本庁舎6階事務局までお越しください。

また、団体での傍聴を希望される方は座席の都合上、事前に事務局へお問合わせください。

なお、本会議のライブ中継及び録画中継は下記アドレスからご覧いただけますのでご活用ください。

●問い合わせ 議会事務局

63-1001 内線603

●天理市議会ホームページ

<http://www.tenri-gikai.jp/>

## ● 議案等の議決結果 ●

### 全会一致で可決した議案

- 【予算案】** ○22年度一般会計補正予算 ○22年度国民健康保険特別会計補正予算 ○22年度住宅新築資金等貸付金特別会計補正予算 ○22年度土地区画整理事業特別会計補正予算 ○22年度市立病院事業会計補正予算 ○22年度下水道事業会計補正予算 ○23年度介護保険特別会計予算 ○23年度後期高齢者医療特別会計予算 ○23年度住宅新築資金等貸付金特別会計予算 ○23年度土地区画整理事業特別会計予算 ○23年度市立病院事業会計予算 ○23年度水道事業会計予算 ○23年度下水道事業会計予算
- 【条例案】** ○特別会計条例の一部改正 ○老人医療費助成条例の廃止 ○心身障害者医療費助成条例の一部改正 ○国民健康保険条例の一部改正 ○道路占用料に関する条例及び法定外公共物管理条例の一部改正 ○都市計画審議会条例の一部改正 ○上下水道事業経営審議会条例の制定
- 【その他】** ○市道路線の認定 ○財産の取得 ○権利の放棄 ○区域外における公の施設の設置に関する協議 ○売買代金請求事件に係る訴訟の和解 ○山添村消費生活相談事業の事務の受託
- 【諮問案】** ○人権擁護委員の推薦につき意見を求めること
- 【同意案】** ○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めること
- 【意見書】** ○奈良社会保険病院の公的機関としての存続のため、公的存続法の早期成立を求める意見書 ○医師、看護師、介護職員の夜勤交替制労働者の労働条件の改善で、安全・安心の医療・介護を求める意見書

### 意見が分かれた議案等

- 【議案】** ○第7号 平成23年度一般会計予算  
○第8号 平成23年度国民健康保険特別会計予算
- 【発議案】** ○第1号 政治倫理条例の全部改正

### 各議員の賛否(賛成…○・反対…×・棄権…△) ※議長は表決に加わりません

会派	会派新風				響友会				クリエイティブ天理			無会派				結果				
	榎堀秀樹	東田匡弘	西辻正美	吉井猛	三橋保長	飯田和男	廣井洋司	堀田佳照	大橋基之	岡部哲雄	北田利光	佐々岡典雅	寺井正則	中田景士	山本治夫		平井守	松井真理子	加藤嘉久次	荻原文明
第7号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	欠	○	×	可決
第8号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	×	可決
第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○		○	×	○	○	席	○	○	可決

### 反対討論(趣旨)

議案第7号 荻原：税制改正については、法人減税、個人増税となっている。消費不況克服に逆行する庶民増税は中止すべき。観光施設調査業務委託料は西山塚古墳買収を含むものであり不要不急の歳出は削除すべき。子どもの医療費助成を義務教育終了まで引き上げ、国保料引き下げ、100歳医療費無料化、公契約条例制定、家庭ごみ有料化中止等、市民の暮らし福祉優先の予算に組み替えるべき。

議案第8号 荻原：第7号と同趣旨。

発議案第1号 中田：条例第5条請負契約等に関する遵守事項についての反対。地方自治法において議員等の請負禁止事項が明記されており、またその配偶者が経営する企業が請負辞退に努めることを条例化することは形式的であり、又違反をしたとしても懲罰規定が無い。加えて憲法における基本的人権及び職業選択の自由の観点からも疑問があると考えます。



## 意見書の内容

### 奈良社会保険病院の公的機関としての存続のため、公的存続法の早期成立を求める意見書

奈良社会保険病院の存続については、一昨年秋の第173回臨時国会において社会保険病院・厚生年金病院等の「公的存続法案」が提出された。しかし、第174回通常国会において、衆議院では可決されたものの、参議院においては国会会期不足から審議未了による廃案とされた。

社会保険病院・厚生年金病院の現所有者である独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構（以下「整理機構」）が平成22年9月末に解散となることから、先の第175回臨時国会において「整理機構」の2年延長法案が可決された。しかし、「整理機構」は施設を売却・譲渡し、年金、健康保険財政に資することを目的とした独立行政法人であり、その延長が将来に渡る安定的な施設の存続や、継続性のある地域医療の提供を担保するものではない。売却や譲渡への不安は、医師及び看護師などの離職を招き、地域に必要な診療科の不足や閉鎖など医療サービスの低下のみならず、地域住民の生命をも脅かしかねない。それだけでなく、奈良県の医療体制にも重大な影響を及ぼすことも危惧される。

救急、小児救急医療や産科医療などの不採算医療、看護師不足改善への貢献など、地域医療の崩壊を食い止め、これまで続けてきた公的な医療機関としての機能を安定的に提供し、充実させていくためにも、引き続き、奈良社会保険病院が公的な医療機関として存続することが必要と考える。

さらに、すべての国民が等しく良質な医療サービスを受けられるためにも、国の責任において、社会保険病院・厚生年金病院等の公的存続法を速やかに成立されるよう、強く要望する。

### 医師、看護師、介護職員の夜勤交替制労働者の労働条件の改善で、安全・安心の医療・介護を求める意見書

長寿世界一を誇る日本の医療は、長年にわたる社会保障費抑制政策のもとでも、医師・看護師などの懸命な努力によって支えられてきた。

しかし、医療現場は長時間・過密労働に加え、医療技術の進歩や、医療安全への期待の高まりなどで、看護職員などの労働環境は厳しさを増し、離職者も多く深刻な人員不足で努力だけでは限界にきている。

安全・安心の医療・介護実現のために、看護師など夜勤交替制労働者の大幅増員と労働条件の抜本的改善は不可欠となっている。医療・社会保障予算を先進国並みに増やし、国民が安心して暮らしていける制度が求められている。

以上の趣旨から、看護師等の大幅増員を実現し、安全で行き届いた医療・看護・介護の拡充を図るための対策を講じられるよう、下記の事項について要望する。

記

- 1、ILO（国際労働機関）看護職員の雇用、労働条件及び生活状態に関する条約に基づき、看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔を12時間以上とすること。
- 2、医療、社会保障予算を先進国（OECD加盟国）並みに増やし、医師・看護師・介護職員等を大幅に増やすこと。
- 3、国民（患者・利用者）の負担を減らし、安全・安心の医療・介護を実現すること。

※意見書は、議会の考えや意思を表明するため、内閣総理大臣をはじめ関係機関に提出しました。

## 新議員紹介

去る4月24日に行われた選挙により、市議会の議員となられた方を紹介します。（定数18名、50音順）

飯田 和男 議員  
大橋 基之 議員  
加藤嘉久次 議員  
菅野 豊盛 議員  
東田 匡弘 議員  
前島 敏男 議員

市本 貴志 議員  
岡部 哲雄 議員  
川口 延良 議員  
寺井 正則 議員  
廣井 洋司 議員  
三橋 保長 議員

今西 康世 議員  
荻原 文明 議員  
佐々岡典雅 議員  
中西 一喜 議員  
堀田 佳照 議員  
山本 治夫 議員

## 議員研修会を開催！

テーマ「二代表制の現状と議会内閣制を考える」  
～さらなる議会改革推進に向けて～

議員の政策立案及び政策提案能力の向上を図るため、3月2日に法政大学の廣瀬克哉氏を講師に招き、議員研修会を開催しました。

この研修会には、部課長も参加し、また、研修会のあと、講師と議員で様々な意見交換が行われ、充実した研修会となりました。



研修会の様子

## 東北地方太平洋沖地震災害義援金活動



3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）で亡くなられた方々へ心より哀悼の意を表するとともに、被災された皆様方が希望をもって1日も早く復興されるよう願っています。

市議会は3月17日の早朝と夕刻に市内7駅で募金活動を行いました。また、議員一人2万円を出し合い、合わせて約70万円の義援金を被災者支援のために、日本赤十字社天理市地区奉仕団に寄付しました。

### 編集後記

新緑が目にもまぶしく、  
いらかに泳ぐこいのぼりに季節を感じる5月です。  
無事に市議会議員選挙も終り、18人の議員が選ばれました。天理市には多くの課題が山積しています。1つ1つの問題をしっかりと論議をして天理市政発展のための答えをだしていく決意です。  
市民の皆様におかれましては今後も天理市議会を時にはあたたかく、時には厳しく見守っていただけるようお願いいたします。

